

愛知名古屋で感染急増 検査の徹底申し入れを!

新型コロナウイルス感染者が全国で一日千人を超えました。愛知でも167人(29日)に。感染拡大を防ぐために、PCR検査の抜本的拡大など運動を広げましょう。県下の感染抑止のために愛知県として名古屋市と協力して繁華街でのPCR検査を強力に進めるようにと各首長からも県に要請するよう働きかけを。県党は29日愛知県に申し入れ(全文は別途送ります)。28日には名古屋市長が緊急に申し入れました。事態は深刻!

名古屋市長 河村たかし 様

2020年7月28日
日本共産党名古屋市議員団
団長 田口一登

新型コロナウイルス感染症の第2波を食い止めるための緊急申し入れ

新型コロナウイルス感染者数は、7月23日に全国でも最多を更新しました。名古屋市内でも6月以降急速に拡大し、同日には62人と最多となり、以後連日40人前後が続いています。

第2波の感染は、繁華街を中心に、感染者の多くが20歳代であり、感染経路不明者数は半数を越え市内全域に広がっています。収容施設が不足し、自宅待機を余儀なくされている陽性者は200人を超えています。家族への感染の不安、食糧買い出しに外出をせざるを得ない実態など、報道を通して名古屋の実態が明らかになり、第1波にはない深刻な事態となっています。

この間、日本共産党市議団は繰り返し、検査と隔離、治療を思い切って進めるため、PCR検査の拡充、接触者センターの体制強化等を申し入れてきました。感染の第2波から名古屋市民のいのちと健康、暮らしと生業を守るために、以下の対応を緊急に行うよう申し入れます。

記

- 7月15日の「厚生労働省新型コロナウイルス感染症対策推進本部」の事務連絡にもとづき、PCR検査の戦略的な拡大を行うために以下の対応を行うこと
- ①感染拡大の可能性のある地域を特定し、そのエリア内すべての店舗の従業員・連絡可能な顧客のPCR検査を実施すること。
- ②業務上、人との接触が避けられない医療、介護、障害、保育、教育等の関係者にPCR検査を実施すること。陽性者が出た施設では2週間毎の検査を継続すること
- ③大規模なPCR検査を展開するため、名古屋市PCR検査所を各行政区の保健センター等に設置すること。検体検査は、衛生研究所のほか、検査可能な医療機関、民間検査機関、大学等の協力を求めること
- ④無症状、軽症者に陽性者が多数いることから帰国者・接触者相談センターに症状(程度に問わず)を訴える市民にはPCR検査(予約も含め)が受けられるよう丁寧で確実な対応を行うこと
2. 上記検査の結果、陽性者が発見された場合、事業所・施設への休業要請と閉鎖に伴う補償を行政の責任で行うこと
3. 軽症・無症状の感染者を保護・隔離するため、県市協力し宿泊施設を大規模に確保すること。国、独立行政法人等の公的施設の活用をすすめること
4. 現在、中保健所が担っている休日及び夜間の帰国者・接触者相談センター業務は、本庁保健所にその機能を移し、平日並みの人員体制で対応にあたること
5. 感染者搬送時間のロスをなくすため、現在守山区の衛生研究所に置かれている感染症・調査センターの患者移送に関わる人員と移送車を本庁に移すこと
6. 感染者のプライバシーに配慮しながら、①感染地域②PCR検査及び抗原検査件数③中重度及び軽度・無症状の陽性者数④入院及び入所療養者数とそれぞれの施設使用率⑤自宅待機者数(入院入所調整中)等を市民に分かりやすく公表すること。



2020年度愛知県党夏期地方議員研修会

○8月18日(火) 午前10時~午後5時

○労働会館東館2階ホール(名古屋市熱田区沢下町9-7金山駅徒歩10分)

プログラム(予定) ★講演 岡寄郁子党自治体局長(元戸田市議) ★国会報告 本村伸子衆議院議員

★発言と交流15人(各地区から2名ずつ) 予定 ★県委員会からの行動提起 石山県書記長

招集対象=地方議員86人と予定候補者、地区自治体部 *参加と発言者の確認をお願いします。

